

# 「平成 24 年度 歌志内市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」 社会教育委員からの意見（外部の知見活用）

- 教育委員会は、事務の管理・執行状況についての点検・評価報告書を作成するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 2 項に基づき、客観性を確保する観点から教育委員会以外の視点から意見をいただくため、意見交換会を実施しています。
- 意見をいただく方は、教育に対する専門的知見を有している社会教育委員 3 名としています。

## 1. 会議開催状況

【会議開催日】 平成 25 年 11 月 28 日（木）午後 5 時 45 分から 7 時 15 分

### ○ 点検・評価報告書の説明、委員間の意見交換（資料事前配布）

教育委員会が実施した点検・評価結果について説明を行い、報告書（第 1 章・第 2 章）について意見交換を行いました。

### ○ 意見まとめ

各委員の意見をもとに、教育委員会点検・評価結果に対する意見結果をまとめました。

## 2. 意見結果

### （1）全体について

点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条に基づき実施されたものですが、歌志内市教育委員会は、第 1 章で「教育委員会の活動状況」、第 2 章で「教育の推進及び振興に関する事業」の点検・評価を行っており、全体的に適切に実施していると判断します。

今後も、このような点検・評価の実施や報告書の作成により、積極的に教育行政の取り組みについて情報を公開することを期待します。

### （2）第 1 章 教育委員会の活動状況の点検・評価結果について

変わりゆく社会情勢に対応するため、強く生き抜く力を持った人材の育成が求められる中、次代を担う子どもたちに「生きる力」を育むための教育活動が必要とされています。

また、教育行政は、学習の機会を確保するのみならず、家庭生活の充実や住みよいまちづくりと密接に関係するものであり、少子高齢化や財源の確保といった地域的課題を抱えつつも、市内の教育環境の変化や要求に対応するため、地域の特性や人材・自然等、教育的諸条件を生かした教育行政を推進する必要があります。

教育委員会の会議、活動の状況については、諸課題に対応して概ね適切に取り組みされており、全体的に評価できるものですが、国において制度改革の議論が進められるなど教育を取り巻く社会情勢は日々確実に変化しており、複雑化する教育問題に対処するためには、一層の創意工夫をもって取り組む必要があります。

### (3) 第2章 教育の推進及び振興に関する事業の評価について

第5次歌志内市基本構想や教育行政執行方針をもとに目標を設定し、取り組み状況や自己評価、課題等が記述されており、適切に整理されていると考えます。なお、目標設定については、いずれも教育環境の整備に必要な不可欠な項目となっていますが、効果的・効率的な事業推進のため、学校等が実施しているアンケート結果の分析などを活用しながら必要性の見直しを行うとともに、引き続き個々の取り組みも含めた点検・自己評価を実施されるよう期待します。

### (4) 個別意見

全般的に適切に取り組まれています。さらなる教育環境の充実のため次のとおり意見を述べます。

#### ◎ 各種取り組みのPRについて

年間を通じて実施されている各種行事等について、すばらしい取り組みであったり、参加者に好評を博した行事であっても、周知不足で参加者、利用者が少ないと成果が半減してしまうことから、あらゆる機会を通じて告知するほか、開催結果を周知するなどのPRが必要であると考えます。特に、生活習慣や家庭学習の重要性や食育の取り組みは、児童生徒への指導以上に保護者の理解が必要不可欠であることから、保護者向けのPRに配慮をお願いします。

#### ◎ 外国語教育について

これまで長期にわたり外国語指導助手を招致し、中学校の授業はもとより、幼稚園・小学校においても国際理解の推進に取り組んでいますが、国際化が進む中、外国語教育のさらなる充実が必要とされています。また、市内における外国の方との出会いは貴重な経験であることから、園児や児童生徒以外の市民が外国青年と接し、交流できる機会が増えることを望みます。

#### ◎ サークル活動について

公民館でのサークル活動など、趣味を同じくしたり、情報交換・相互協力を目的とした自主的な集まりは、文化的活動を推進するのみならず、気分転換や健康の増進にも貢献して地域生活を豊かにするものであることから、引き続き各団体への協力・支援を希望します。

#### ◎ 図書館について

インターネットの普及などにより、図書館に求められる役割も大きく変わりつつありますが、人間形成における読書の重要性は変わらず、特に書店が姿を消しつつある地方・地域における図書館は、文化拠点として重要な役割を果たすものであり、文化的で豊かな生活の指標になるものです。読書人口を増やすため、利用者のリクエストに応える工夫（読みたい本を読みたいときに）や市民へのPR強化（新刊の配架等）など、間口を広げる取り組みを強化するとともに、子どもからお年寄りまで誰もが気持ちよく利用できるよう、図書に関する丁寧な助言やサービスへの工夫を期待します。

### (5) その他

前述のとおり、教育行政は、家庭生活の充実や住みよいまちづくりと密接に関係するものであることから、次の点に配慮して取り組んでいただきたいと思えます。

- ・子どもにやさしく、子どもが笑顔になるまちづくり
- ・子ども達が将来誇りに思えるよう10年先を見据える